

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	88.0%	現状値	80.3%
成果指標	「地域・地域活動をする人」の割合	本年度目標値	62.0%	現状値	52.6%(H29) 町民アンケート

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	<p>【勁い心をもつ人財の育成】については、小学校臨海自然教室、hyper-QU事業、中学校文化部活動外部指導者派遣事業等を実施した。豊かな心の育成については、「豊かな心育成のまち宣言」ポスター及びチラシを作成し、6月末に配布した。また、読書活動の推進を図るため、学校司書2名を配置し、学校への巡回日数を増やした。文化芸術活動においては、5月30日に七井小での演劇公演(県巡回公演事業)、6月26日には小学生移動音楽鑑賞教室の開催により、児童の心を豊かにするとともに、芸術文化への関心を高めることができた。</p> <p>【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、町独自学力調査事業(小3・中1)及び県学力状況調査(小4・小5・中2)が終了し、その課題と成果をまとめた。小学校外国語活動においては、小中連携事業として3中学校での授業参観を行うとともに、外国語活動推進委員会を開催し、指導法の工夫・改善を図った。英検検定補助事業については、第1回3級以上の受験者31名に対し補助金を交付した。また、育脳プログラムについては、5月末に園児及び小学3年の保護者に配布するとともに、6月13日及び14日に育脳インストラクターによる講座、講演会、研修会を実施した。</p> <p>【たくましく生きるための人財育成】については、体力向上プログラム活用事業を推進するため、6月12日に益子西小(第1回)、6月29日に田野中(第2回)において授業参観・授業研究会を実施し、効果的な活用のあり方について協議した。マシコット体操については、作成業者を日本健康財団に決定し、6月に楽曲制作者の高島聡美氏、日本健康財団担当者との打合せ(第1回)を実施した。</p> <p>【人財が育つ環境づくり】については、ましこ町民大学の入学生募集を6月1日から開始した。応募者は6月30日現在で5名である。遊びの達人による講座については、6月23日に第1回講座(マス釣りを実施した。参加者は28名であった。また、新たに遊びの達人5名が登録となり、登録者数は13名となった。</p>	<p>【勁い心】の視点では、hyper-QU事業については、児童生徒理解を更に深めるため、7月31日に研修会を開催する。「豊かな心育成のまち宣言」については、7月7日に開催される青少年健全育成大会において説明するとともに、参加者全員で唱和を行う。学校司書については、各学校の新刊受入や図書整備の状況を踏まえ、勤務日を調整する。また、今年度から1名配置したスクールソーシャルワーカーについては、計画的に学校を訪問し、不登校(傾向)及び配慮児童生徒の保護者への支援や学校に対する助言・指導を行う。</p> <p>【学び】の視点では、町独自学力調査(小3・中1)の結果については全国平均を下回ったが、県学力状況調査(小4・小5・中2)において県平均を上回った。今後、8月8日に開催する学力向上検討委員会において課題の分析と対策を検討する。小学校外国語活動については、8月7日に外国語活動研修会を開催し、教材研究や指導法のあり方について協議する。中学生海外派遣事業については、8月8日に結団式、事前研修会を実施し、10月15日の壮行会に向けて準備を進める。育脳プログラムについては、乳幼児検診や講座、講演会などを通して普及啓発に取り組む。</p> <p>【たくましさ】の視点では、8月3日に第3回体力向上プログラム活用事業研修会を開催し、投力の育成に向けた指導法について実技研修を行う。マシコット体操については、7月に第2回打合せを行い、歌詞・メロディーと動作について検討する。ましこチャレンジクラブについては、プログラムの内容及び広報活動について検討し、加入者の増加を図る。</p> <p>【環境づくり】の視点では、ましこ町民大学の入学生募集期間は7月31日までとなっており、自治会等にも働きかけ、積極的に入学生の勧誘を行う。ましこ検定については、「ふるさと教育」につながるものであり、特に中学生の受験者を増やせるよう、受験しやすい条件整備を進める。</p>

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	88.0%	現状値	80.3%
成果指標	「地域・地域活動をする人」の割合	本年度目標値	62.0%	現状値	52.6%(H29) 町民アンケート

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第2四半期	<p>【勤い心をもつ人財の育成】については、7月7日開催の青少年健全育成大会において「豊かな心育成のまち宣言」を唱和し、周知・啓発を図った。参加者は437名であった。hyper-QU事業では、7月31日に児童生徒理解を深めるための活用のあり方について研修した。学校司書については、「学校図書館の状況等に関する調査」に基づき、図書館整備について助言した。文化芸術事業(芸術家の派遣事業)については、希望調査を行い、各学校に対し積極的な応募を促した。</p> <p>【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、全国学力・学習状況調査において、中3では全国平均を上回り、全国5位の学力であった。また、8月9日に町小中学校学力調査結果報告会を開催し、学力向上の対策について検討した。町外国語活動小中連携事業については、8月7日に町外国語活動研修会を開催し、指導力の向上を図った。また、英検検定料補助金交付事業については、第1回3級以上の受験者は18名、合格者は14名であった。また、3級以上取得率は16.4%であった。育脳プログラム活用事業については、7月28日にましこココロハウスにおいてワークショップ「親子でふれあう」を開催し、普及・啓発を図った。中学生海外派遣事業については、8月8日に結団式、8月20日～24日まで事前研修を行った。</p> <p>【たくましく生きるための人財育成】については、8月3日に第3回体力向上プログラム活用事業研修会を開催し、投力の育成に向けた指導法について実技研修を行った。マシコット体操については、完成した楽曲や体操(振付)を基に、体操説明映像(DVD)の制作について協議した。ましこチャレンジクラブについては、継続的に広報活動を行い、加入者は9月末日で527名であった。</p> <p>【人財が育つ環境づくり】については、ましこ町民大学の入学生募集期間を8月17日まで延長し、9月1日に入学式(入学生24名)を行った。遊びの達人による講座については、7月28日に第2回講座(虫取り)を実施した。参加者は21名であった。また、遊びの達人の登録者数は、9月末日で15名となった。</p>	<p>【勤い心】の視点では、スクールソーシャルワーカーの学校訪問を、田野中(10/12)、益子中(10/17)、益子小(10/22)、七井中(10/24)、田野小(10/26)において実施し、保護者への支援や学校への助言・指導を積極的に行う。文化芸術事業については、田野中で11月22日に学校訪問演奏会事業「音楽ってすばらしい!学校でこんにちは!」を開催する。学校司書については、12月に「司書教諭・学校司書研修会」を開催し、図書館の整備と業務の実際について研修する。</p> <p>【学び】の視点では、学力向上応援団派遣事業については、田野小(10/10、10/20)、益子小(10/25、12/4)、七井小(11/14)において授業参観及び授業研究会を行い、学力向上の対策について協議する。また、第2回町学力調査(12/13、12/14)を各小学校で実施する。外国語活動小中連携事業については、10月22日に益子小において外国語活動授業研究会を開催し、指導力の向上を図る。育脳プログラム活用事業については、10月12日に育脳インストラクターによる講演会や講座を開催する。中学生海外派遣事業については、10月15日に壮行会及び事前研修を行い、出発への準備を進める。</p> <p>【たくましさ】の視点では、指導者育成教室については、10月21日に元東北楽天ゴールデンイーグル監督 大久保博元 氏による講演会を開催する。体力づくりについては、各学校から要望のあった運動用具を10月中に納品し、体力向上プログラム活用による取組を支援する。ましこチャレンジクラブについては、昨年同期の加入者数558名と比べ停滞気味である。広報お知らせ版を利用し、継続的にPRを行う。</p> <p>【環境づくり】の視点では、ましこ町民大学(第6期)については、第7回～第19回の講義を実施する。9月末日の入学生は23名である。ましこ検定については、11月に第3回実行委員会を開催し、検定問題の難易度、合格証、特典などについて協議する。また、遊びの達人による講座については、11月24日に第3回「雨巻山に登ろう」を実施する。</p>

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	88.0%	現状値	80.3%
成果指標	「地域・地域活動をする人」の割合	本年度目標値	62.0%	現状値	52.6%(H29) 町民アンケート

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第3 四半期	<p>【勤い心をもつ人財の育成】の視点では、学校訪問演奏会事業については、田野中学校において11月22日に「音楽ってすばらしい！学校でこんにちは！」を実施し、文化芸術への関心を高めることができた。また、学校図書館の活用・整備に向けて、司書教諭及び学校司書研修会を開催し、学校司書の資質向上を図った。「豊かな心育成のまち宣言」の推進については、地区公民館へのポスター掲示を依頼し周知・啓発に努めた。1・2学期分の皆勤者の割合は、小学校 52.7%、中学校 57.6%、町全体では 54.3%であった。</p> <p>【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】の視点では、学力向上推進事業については、各小学校の学力向上改善プランに基づき、学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー事業を推進し、指導力向上の検証・改善を行った。外国語活動小中連携事業については、益子小において10月22日に外国語活動研究授業及び授業研究会を実施し、指導力向上を図った。育脳プログラム事業については、10月12日及び13日に育脳インストラクターによる講座・講演会・研修会を、12月18日には運動プログラム運動保育士による育脳運動遊び研修会を開催し、普及・啓発に努めた。</p> <p>【たくましく生きるための人財の育成】の視点では、体力づくりについては、各学校から要望のあった運動用具類を10月に納品し、整備・充実を図った。また、10月21日にスポーツ指導者育成講演会(講師:大久保博元氏)、少年スポーツ教室(11月4日:野球、12月1日:剣道、12月24日:サッカー)をそれぞれ実施した。マスコット体操については、出演者講習会を実施し、DVD 室内バージョンの撮影を町民会館ホールで行った。</p> <p>【人財が育つ環境づくり】の視点では、ましこ町民大学については、第7回～第19回の講義を無事終了できた。ましこ検定については、第3回ましこ検定実行委員会を開催し、難易度・検定料・中学生の受検・特典・合格証等について検討した。遊びの達人による講座については、11月24日に第3回「雨巻山登山」を実施した。参加者は18名であった。</p>	<p>【勤い心】の視点では、小・中学校の1年間皆勤率の目標値が 53.0%であることを踏まえ、児童生徒の健康管理や皆勤奨励等について、各学校への支援を積極的に行う。文化芸術事業については、次年度の希望調査を行い積極的な応募を促す。12月末現在で、例年の2倍以上の応募がある。不登校対策については、各学校から提出される「月別個別支援票」を踏まえ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、つばさ教室との連携を図り、継続的に支援を行う。</p> <p>【学び】の視点では、学力向上推進事業については12月13日及び14日に小学校で実施した「第2回町学力調査」結果を分析し、学力向上検討委員会で報告し、検証・改善を図る。また、2月1日には、益子小において小学校プログラミング教育授業研究会を開催し、プログラミング教育への理解と指導力の向上を図る。英検検定補助事業については、第2回終了時における3級取得率は 20.9%である。第3回受検について、引き続き中学校へ協力を依頼する。中学生海外派遣事業については、1月7日に報告会を実施し、その成果を確認する。</p> <p>【たくましさ】の視点では、少年スポーツ教室(柔道・卓球・ソフトテニス・バレーボール・バドミントン)については、講師依頼など計画的に準備を進める。マスコット体操については、DVD 野外バージョン撮影に向けて、撮影場所や日程等の調整を図る。ましこチャレンジクラブについては、毎月加入者が増え続けており、12月末現在で583名である。引き続き広報活動を行い、加入者の増加を図る。</p> <p>【環境づくり】の視点では、ましこ町民大学については、第20回・21回においてアクションプランづくりを行うとともに、第22回(最終回)のアクションプラン発表と卒業式に向けて準備を進める。ましこ検定については、中学生の受検者に加え、一般受検者の増加を目指し、ホームページやチラシの配布などにより周知徹底を図る。</p>

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	本年度目標値	88.0%	現状値	80.3%
成果指標	「地域・地域活動をする人」の割合	本年度目標値	62.0%	現状値	52.6% (H29) 町民アンケート

	実施内容・成果の総括	次年度の方針
<p>本年度総括 (第4四半期分も含む)</p>	<p>成果指標1「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合は80.3%であり、目標値88.0%に達しなかった。また、成果指標2「地域・社会活動をする人」の割合についても52.6%であり、目標値62.0%には達しなかった。本年度の成果の総括は、次のとおりである。</p> <p>【勤い心をもつ人財の育成】については、指標1「小・中学生の1年間の皆勤率」は46.7%であり、目標値53.0%に達しなかった。また、指標2「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合についても98.2%であり、目標値100%には達しなかった。主な事業として、小・中学校宿泊訓練事業、hyper-QU 事業、学校司書配置事業、子育て支援教室、小学生移動音楽鑑賞教室、県巡回公演事業・演劇(七井小)及び学校訪問演奏会事業(田野中)を実施した。</p> <p>【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、指標1「全国学力テスト全国順位(中学3年時)」は全国5位であり、目標値を達成した。指標2「中学校における英検3級取得率」は20.9%であり、目標値26.0%に達しなかった。主な事業として、町学力状況調査事業、マイチャレンジ推進事業、育脳プログラム活用事業、英検検定料補助金交付事業、町中学生海外派遣事業を実施した。</p> <p>【たくましく生きるための人財の育成】については、指標2「小学生のスポーツクラブ参加率」は60.4%であり、目標値65.0%に達しなかった。指標3「小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合」は11.9%であり、目標値13.0%に達しなかった。主な事業として、中学校運動部活動外部指導者派遣事業、体力向上プログラム活用事業、マシコット体操のDVD制作、指導者育成教室、少年スポーツ教室を実施した。</p> <p>【人財が育つ環境づくり】については、指標1「町民学士認定者数」は延べ177人、指標2「ましこ検定の合格者数」は48人である。指標3「遊びの達人の登録者数」は18人であり、目標値10人を超えた。主な事業として、第3回ましこ検定、ましこ町民大学、遊びの達人による講座(4回)を実施した。</p>	<p>次年度の成果指標1の割合は88.5%、成果指標2の割合は64.0である。次年度の方針は次のとおりである。</p> <p>【勤い心をもつ人財の育成】については、指標1は平成29年度45.0%、平成30年度46.7%であり、やや上向きである。目標値54.0%に到達できるよう各学校への積極的な支援を行う。指標2は目標値100%に到達できるよう支援内容の充実を図る。主な事業は、hyper-QU 事業、中学生移動音楽鑑賞教室の開催、文化庁巡回公演事業(田野小、益子小、田野中、益子中)、学校司書2名配置による学校図書館環境整備事業、スクールソーシャルワーカー活用事業である。また、「豊かな心育成のまち宣言」については、広報周知に努めるとともに推進を図る。</p> <p>【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、指標1の全国順位5位以内を引き続き達成する。指標2の目標値については、平成31年度目標値29.0%の達成を目指し、3級程度の力を有する生徒の受検者を増やす。主な事業は、町学力状況調査事業(年2回)、学力向上推進リーダー派遣事業、小学校外国語活動小中連携事業、英検検定料補助金(全額)交付事業、ましこコッホスでの育脳プログラム活用事業である。</p> <p>【たくましく生きるための人財の育成】については、指標2の目標値66.0%に到達できるよう保護者への理解と協力を得る。指標3については、目標値14.0%に到達できるよう、体力向上プログラム活用授業研修会及び体力向上指導者研修会の充実を図る。主な事業は、体力向上プログラム活用事業、中学校運動部活動外部指導者派遣事業、マシコット体操活用事業、指導者育成事業、ましこチャレンジクラブ支援事業である。</p> <p>【人財が育つ環境づくり】については、指標1の目標値延べ220人、指標2の目標値55人に到達できるよう広報周知に全力を注ぐ。指標3の目標値については上方修正を図る。主な事業は、ましこ町民大学の開校、第4回ましこ検定の実施、遊びの達人による講座の開催である。また、本講座については、新しい分野の開拓に取り組む。</p>

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成の育成		
施策	強い心を持つ人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	53.0%	現状値	46.7%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	100%	現状値	95.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①9か月児健診（4/26.13名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（4/20.9名）12か月児（4/18.7名） パンフレットを配布し食育講話を実施。1歳6か月児（4/5.27名） ③離乳食教室を実施（4/12.8組16名） ③リトミック（4/10.8組）		
	5月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。	①9か月児健診（5/22.5名）3歳児健診（5/16.22名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（5/25.16名）12か月児（5/17.13名） パンフレットを配布し食育講話を実施。1歳6か月児（4/5.27名） ③赤ちゃんマッサージ（5/7.5組）おっぱい相談（5/7.1組）		
	6月		①9か月児健診（6/28.8名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（6/20.10名）12か月児（6/20.10名） パンフレットを配布し食育講話を実施。1歳6か月児（6/5.38名） 2歳児歯科検診（6/7.38名） ③赤ちゃんマッサージ（6/4.7組）おっぱい相談（6/4.1組） リトミック（6/11.5組）		
	7月		①9か月児健診（7/20.13名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（7/27.9名）12か月児（7/18.7名） パンフレットを配布し食育講話を実施。1歳6か月児（4/5.27名） ③離乳食教室を実施（7/25.5組10名） ③赤ちゃんマッサージ（7/2.8組）		
	8月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。	①9か月児健診（8/22.5名） ①4か月児健診（8/31.16名）12か月児（8/28.13名） パンフレットを配布し食育講話を実施。1歳6か月児（8/10.27名） ③赤ちゃんマッサージ（8/6.5組）おっぱい相談（8/6.1組）		
	9月		①9か月児健診（9/26.8名）3歳児健診（9/13）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（9/21.10名）12か月児（9/19.10名） パンフレットを配布し食育講話を実施。 2歳児歯科検診（9/6.38名） ③赤ちゃんマッサージ（6/4.7組）おっぱい相談（9/3.1組） 赤ちゃん体操（9/10.5組）		
	10月		①9か月児健診（10/30.16名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（10/26.13名）12か月児（10/24.7名） パンフレットを配布し食育講話を実施。1歳6か月児（10/4.22名） ③離乳食教室を実施（10/11.5組10名） ③赤ちゃんマッサージ（10/1.6組）リトミック（10/15.14組）		
	11月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。	①9か月児健診（11/22.6名）3歳児健診（11/8.43名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（11/30.7名）12か月児（11/28.13名） パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（11/5.2組）おっぱい相談（11/5.2組）		
	12月		①9か月児健診（12/10.14名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（12/21.11名）12か月児（12/7.9名） パンフレットを配布し食育講話を実施。1歳6か月児（12/5.16名） 2歳児歯科検診（12/12.53名） ③赤ちゃんマッサージ（12/3.7組）おっぱい相談（12/6.3組） リトミック（12/10.4組）		
	1月		①9か月児健診（1/30.8名）3歳児健診（1/10.25名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（1/25.11名）12か月児（1/16.12名） パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③離乳食教室を実施（1/23.4組8名） ③赤ちゃんマッサージ（1/21.4組）		
	2月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し強い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。	①9か月児健診（2/14.9名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（2/22.7名）12か月児（2/26.10名）1歳6か月児（2/1.18名）2歳児歯科検診（2/1.18名） パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（2/4.5組）おっぱい相談（2/4.1組） リトミック（2/18.5組）		
	3月		①9か月児健診（3/26.14名）3歳児健診（3/14.14名）読み聞かせ・絵本配布 ①4か月児健診（3/15.6名）12か月児（3/20.10名） パンフレットを配布し食育講話を実施。 ③赤ちゃんマッサージ（3/4.3組）		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①9か月児健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせ等を実施、絵本のプレゼントは好評である。また、各種乳幼児健診等を通して早寝・早起き朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。</p> <p>③子育て教室や乳幼児期からの食育教室等の開催。</p>	<p>①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①9か月児健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせ等を実施、絵本のプレゼントは好評である。また、各種乳幼児健診等を通して早寝・早起き朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。絵本の配布については、数年間、同タイトルの配布であり、対象が第2子以降であると『既に手元に同じ本がある』との意見もあった。</p> <p>③子育て教室や乳幼児期からの食育教室等の開催。</p>	<p>①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。配布の絵本に関しては、2年に1度程度はタイトルを見直し、より多くの絵本と触れ合えるよう配慮していきたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①9か月児健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせ等を実施、絵本のプレゼントは好評である。また、各種乳幼児健診等を通して早寝・早起き朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。絵本の配布については、数年間、同タイトルの配布であり、対象が第2子以降であると『既に手元に同じ本がある』との意見もあった。</p> <p>③子育て教室や乳幼児期からの食育教室等の開催。</p>	<p>①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。配布の絵本に関しては、2年に1度程度はタイトルを見直し、より多くの絵本と触れ合えるよう配慮していきたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①9か月児健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせ等を実施、絵本のプレゼントは好評である。また、各種乳幼児健診等を通して早寝・早起き朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。絵本の配布については、本のタイトルを前向きに検討中。</p> <p>③子育て教室や乳幼児期からの食育教室等の開催。</p>	<p>①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。配布の絵本に関しては、2年に1度程度はタイトルを見直し、より多くの絵本と触れ合えるよう配慮していきたい。2019年度については、年度途中より絵本のタイトルを変更予定。選定にあたり読みみかせボランティアと検討をすすめていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿い、事業を継続していく。また、町民のニーズの確認や、読み聞かせボランティア等の協力を得ながら、配布絵本の見直しを行っていく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿い、事業を継続していく。また、町民のニーズの確認や、読み聞かせボランティア等の協力を得ながら、配布絵本の見直しを行っていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 子育て支援に関しては、今後も新しい施設の有効活用を図られたい。 ファーストブックスタート、セカンドブックスタートについて、本に親しむ環境づくりのため、今後も継続していただきたい。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	勁い心を持つ人材の育成	進捗状況	90%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	53.0%	現状値	46.7%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	100%	現状値	95.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）	②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月		①学校司書2名辞令交付(4/2) ①外部指導者の推薦を依頼(4/4)、外部指導者の申請書受理(4/25) ①県巡回公演事業（演劇）決定通知到着(4/13) ①文化芸術による子供の育成事業（夢アートアカデミー）実施希望提出(4/19) ②hyper-QU事業を各小中学校へ周知する。4/20 ・スクールソーシャルワーカー相談（小学校13件・中学校4件）		
	5月	①各中学校の文化部に中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施し、外部指導者を派遣。保険加入処理。 ①学校司書を2名配置。 ①各小中学校へ文化庁事業「文化芸術による子供の育成事業」の周知を行う。 ①県巡回公演事業（演劇）らくりん座「あらしのよるに」上演（七井小）(5/30) ②臨海自然教室実施(6/18～6/20) ②hyper-QU事業を各小中学校へ周知する。全小中学校で第1回目を実施する。 ・スクールソーシャルワーカーを1名配置。	①外部指導者の決定。各中学校へ派遣(5/17) ①文化芸術による子供の育成事業（コミュニケーション能力向上事業）実施希望提出(5/25) ①県巡回公演事業（演劇）上演（七井小）(5/30) ②hyper-QU事業実施 5/16（七井中）5/21・22（益子西小）5/30（益子小） ・スクールソーシャルワーカー学校巡回 5/15（田野中）5/16（七井中）5/22（七井小）5/30（益子西小）5/31（田野小）相談（小学校16件・中学校4件）		
	6月		②外部指導者のスポーツ保険加入処理(6/8) ①県巡回公演事業（演劇）実施報告書提出(6/19) ②臨海自然教室実施(6/18～6/20) ②hyper-QU事業実施 6/4（田野小）6/15（七井小）6/21（田野中）6/22（益子中） ・スクールソーシャルワーカー学校巡回 6/11（益子小）相談（小学校14件・中学校15件）		
	7月	①各中学校へ中学校文化部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施 ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ①文化芸術による子供の育成事業の周知、推奨をする ①学校図書館の状況等に関する調査実施	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼。(7/2) ・スクールソーシャルワーカー学校巡回 7/3（益子小）相談 ②7/31 hyper-QU研修会を実施（教職員30名参加） ①学校図書館の状況等に関する調査実施(7/27) ①学校図書館の視察及び学校司書との話し合いを実施		
	8月		①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼・謝金支払(8/28) ・スクールソーシャルワーカー学校巡回 9/28（七井小）相談		
	9月		②hyper-QU事業実施 9/21・25・26（益子西小） ①文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣）実施希望提出(9/27)		
	10月		・スクールソーシャルワーカー学校巡回 10/12（田野中）10/17（益子中）10/22（益子小）10/24（七井中）10/26（田野小）相談 ②hyper-QU事業実施 10/9（田野中）10/18（七井小） ①学校図書館視察(10/25)		
	11月	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ①文化芸術による子供の育成事業の周知、推奨をする ①学校訪問演奏会事業「音楽ってすばらしい！学校でこんにちは！」実施（田野中）(11/22) ①司書教諭及び学校司書研修会開催	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼。(11/5) ①学校訪問演奏会（田野中）(11/22) ・スクールソーシャルワーカー学校巡回 11/1（益子小） ②hyper-QU事業実施 11/12（七井中）11/22（益子中）11/28～30（益子小） ①学校訪問演奏会事業実施（田野中）(11/22) ①学校図書館視察(11/28)		
	12月		①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼・謝金支払(12/12) ②hyper-QU事業実施 12/17（田野小） ・不登校対策会議 12/19（つばさ教室） ①司書教諭及び学校司書研修会 12/26 ①文化芸術による子供の育成事業（巡回公演）実施希望提出 12/28		
	1月		②不登校対策会議 1/17（つばさ教室）		
	2月	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼・謝金支払処理	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼(2/21) ②不登校対策会議 2/19（つばさ教室） ①H31学校司書採用事務（面接・通知等）2/20～3/22		
	3月		②不登校対策会議 3/20（つばさ教室） ①学校図書館視察及び学校司書引継 3/20 ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書受理・謝金支払処理(3/29)		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①5文化部中、現在3文化部にて、中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施。この数値は昨年度同様である。 5文化部中、現在2文化部にて、中学校文化部活動外部指導者不在という状況となっている結果である。</p> <p>①5月30日に、七井小学校で栃木県巡回公演事業（演劇）らくりん座「あらしのよるに」を上演。とちぎ未来づくり財団主催の学校訪問演奏会事業については田野中学校が決定し、11月22日に開催される。文化庁主催の文化芸術事業については、希望したが今年度優先地区でないこともあり決定とはならなかった。</p> <p>①学校司書を2名配置（昨年度から1名増）したことにより学校への巡回日数が増加。学校司書にはそれぞれ主な勤務校を設定しているが、学校から2名勤務の要望があった場合は勤務日を調整している。また、昨年度の課題であった図書廃棄促進について、校長会での周知や、特に課題である学校の現場確認等を行った。また、適宜学校司書と話し合う時間を設けている。</p> <p>・スクールソーシャルワーカーを1名配置し、不登校（傾向）及び配慮児童生徒の保護者に対する相談・支援や、学校に対する助言・支援をすることで、児童生徒及び保護者の悩みや問題行動等の解決に向けて、有効な役割を果たしていた。今年度、接見できない児童生徒はなかった。</p>	<p>①中学校文化部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの文化芸術活動向上を支援する上で支障はないのかという課題を解決するため、各中学校へ中学校文化部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施予定。 調査結果を踏まえ、外部指導者活用の改善点や問題点を把握する必要がある。</p> <p>①学校司書について、夏季休業中の新刊受入等で2名勤務を希望する学校があるため要望に沿えるように勤務日を設定する。また、図書整備が進んでいない学校について現場の確認と指導を行う。</p> <p>②各学校及び各学級担任がhyper-QUの結果を有効に活用できるよう、教職員を対象に、研修会を実施する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>・スクールソーシャルワーカーが定期的に学校へ巡回したり、保護者及び学校の要請により保護者への相談・支援を行った。また、健康福祉課や学校主催のケース会議に出席し、適宜協議・助言を行った。援助の必要な家庭を福祉機関につなぐ等、学校だけでは解決できない状況に有効な役割を果たした。</p> <p>①学校図書館の視察及び学校司書との話し合いを行い、現状を踏まえた整備方針として、図書の整備よりも児童生徒が本を借りたくなるような図書館環境の整備を中心に業務を行うよう学校司書に指示した。</p> <p>①文化芸術事業（芸術家の派遣事業）の希望調査について各学校に積極的な応募を促した。</p> <p>②1学期終了後に1学期分の皆勤者数、長期欠席者数調査を実施した結果、益子町小学校が70.8%(H29同時期68.7%)、益子町中学校71.0%(H29同時期68.2%)、益子町全体が70.9%(H29同時期68.5%)であった。</p>	<p>①適宜学校図書館の視察や学校司書との話し合いの場を設けながら、図書館整備を行っていききたい。また、第三四半期に司書教諭と学校司書の研修会を開催する予定である。</p> <p>①次年度の文化芸術事業について、引き続き募集案内を速やかに各学校へ周知し活用を促していききたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②2学期終了後に1・2学期分の皆勤者数、長期欠席者数調査を実施した結果、益子町小学校が52.7%(H29同時期51.8%)、益子町中学校が57.6%(H29同時期56.2%)、益子町全体が54.3%(H29同時期53.3%)であった。長期欠席者（30日以上欠席）のうち、不登校を主な理由とする欠席者は益子町小学校が0.7%、益子町中学校が4.2%、益子町全体が1.8%であった。</p> <p>①次年度の文化芸術事業の希望調査について各学校に積極的な応募を促した。巡回公演事業では例年の2倍以上の学校が実施希望を提出した。</p> <p>①司書教諭及び学校司書研修会を実施し、学校司書の資質向上を図った。</p> <p>①各校の学校図書館の状況を確認し、進捗状況に合わせ勤務日数を調整した。学校司書に、継続して学校や司書教諭等と連携し各校の状況に合わせた業務を行うよう指導を行った。</p>	<p>①適宜学校図書館の視察や学校司書との話し合いの場を設けながら、整備を行っていききたい。</p> <p>①次年度の文化芸術事業について、引き続き募集案内を速やかに各学校へ周知し活用を促していききたい。</p> <p>②第4四半期にhyper-QU調査の結果を得る予定。各学校の全職員で結果を分析し、不登校、いじめ対策を検討実施することで、問題行動の発生・深刻化の予防の指導支援を図りたい。</p> <p>②第3四半期より各学校から不登校における月別個別支援票を提出している。また、町不登校対策会議を定期的に開催している。適宜に学校への指導支援を行い、不登校児童生徒数を減らせるように努めたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②益子小中学校児童生徒の第2回hyper-QUの結果分析をすると、益子町の全学年とも、学級生活満足度が全国の平均を上回り、良好である。益子町全体としては上学年になれば、全国の平均を大きく上回り、大変良好である傾向にある。よりよい学校生活や友だちづくりを行うことができているといえる。</p> <p>①学校司書の採用については、町広報やハローワークだけでなく日本図書館協会にも求人掲載し、学校司書経験の豊富な司書を採用することができた。</p> <p>①学校司書の引継ぎでは、新旧の学校司書及び学校教育課担当が各校の図書館状況や今年度の経過・課題等を共有し、学校図書館環境の改善や読書教育の推進を継続していけるよう確認を行った。</p>	<p>②次年度もhyper-QUの結果を各学校の全職員で結果分析し、不登校、いじめ対策を検討実施することで、問題行動の発生・深刻化の予防をする。</p> <p>①次年度も適宜学校図書館の視察や学校司書との話し合いの場を設けながら、学校図書館環境の整備・改善を行い、読書教育の推進を進める。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を確実にを行い、不登校、いじめ等の問題行動の発生・深刻化の予防や初期対応を図りたい。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 「学校が楽しい」と児童生徒が感じられるには、自分の存在がみんなに認められていることが第一と考える。そのため、学業指導を基本とした魅力ある学校づくりに向け、それぞれの学校も十分な計画を立てて進めていると思われる。町としても、よりよい学校環境づくりの支援を今後も継続して進めていただきたい。	学校司書配置事業、hyper-QU事業、スクールソーシャルワーカー配置事業等により、（各学校における）いじめや不登校の発生を未然に防止したい。また、初期対応と自立支援を融合させ、長期欠席者の減少を図りたい。さらに、当町では現在、いじめの深刻化事案は報告されていないが、引き続き、児童生徒がいじめのない充実した学校生活を送れるよう、魅力ある学校づくりの支援をしていきたい。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	勁い心をもつ人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	53.0%	現状値	46.7%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	100%	現状値	95.2%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月		①豊かな心育成のまち宣言周知・啓発 4/21 子供会育成会長会議 益婦連総会 5/11 PTA総会 ②移動音楽鑑賞教室の児童送迎バス会社の決定（4/4）		
	5月	①豊かな心育成のまち宣言周知・啓発 ポスター・チラシ印刷（5月） チラシ全戸配布（6月） ②移動音楽鑑賞教室開催に向けての準備・調整を行い、6月26日に開催する。	②移動+AI4+AF10		
	6月		①豊かな心育成のまち宣言ポスター150部 チラシ18,000部印刷 6月末チラシ全戸配布実施 ②移動音楽鑑賞教室の実施（6/26、661名参加） アンケート調査集計（とてもよかった、よかったの回答が約97%）		
	7月		①豊かな心育成のまち宣言に関し、青少年健全育成大会にて説明・唱和を行う。437名		
	8月	①豊かな心育成のまち宣言周知・啓発	②広報ましこ8月号に6/26に移動音楽鑑賞教室を開催した旨の記事を掲載した。		
	9月		①豊かな心育成のまち宣言チラシを全児童生徒保護者宛に配布1,800部 ポスターを学校へ配布 9/15		
	10月				
	11月	①豊かな心育成のまち宣言周知・啓発 ②次年度の中学生移動音楽鑑賞教室の企画をする。			
	12月		①豊かな心育成のまち宣言ポスターを地区公民館へ掲示いただくよう、全自治会長へ依頼した（12/28） ②日本青少年文化センターとの共催が可能な2週間での移動音楽鑑賞教室の日程調整を各中学校に依頼した（12/7） ②その結果、合致する日がなかったため、別日での日程調整を再度依頼した（12/19）		
	1月		②日程調整の結果、6/18（火）午後に決定したことを各中学校へ通知を送付した（1/23） ②実績のある日本青少年文化センターに企画書提出依頼した（1/24）		
	2月	①豊かな心育成のまち宣言周知・啓発 ②次年度の中学生移動音楽鑑賞教室の日程調整をする。	②校長会で次年度の日程・内容を報告した（2/5）		
	3月		①豊かな心育成のまち宣言 ネット使用に関する講演会を次年度、益子小・益子西小・七井小・七井中で実施予定。 その他、次年度青少年健全育成大会の講演会テーマについて、宣言5つ目の「情報モラルの推進」を選定した。 ②バス会社に生徒送迎車両借り上げの見積依頼を発送済み（3/22）		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>〔 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 〕</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②本年度はニューオリンズスタイルをベースにした、ブラックボトムプラスバンドを招き、町内の小学4年生から6年生を対象に実施した。オリジナル曲や有名な曲を演奏したほか、クイズや楽器紹介、代表児童との演奏コーナーもあり、ジャズの持つリズムと音を全身で感じられるコンサートとなったと考えている。今後も子どもたちの心をつかむようなはたらきかけが重要と感じた。</p>	<p>②次年度は中学生が対象となるため、中学生が興味をもってくれるような催し物について検討していきたい。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①豊かな心育成のまち宣言について、周知だけでなく如何に効果的な取組を行うかが課題である。</p>	<p>①豊かな心育成のまち宣言の取組について、学校教育課や生涯学習課の事業で反映できるようにする。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②来年度は日本青少年文化センターや栃木県教育委員会との共催は3中学校の都合の良い日が合致しなかったため、不可能。再度各中学校に日程調整の依頼をする。</p>	<p>②まず、各中学校に都合の良い日を確認し、日程を決める。次に、出演者を町単独で依頼し、決定する。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①中学生のスマートフォン所持率は約5割。ネットを介したいじめや事件など、未然防止対策の取組の必要がある。 ②各中学校との日程調整が難航したが、無事に日程が決まり、出演者も決定した。バス会社の選定も滞りなく進めている。</p>	<p>①「ネット関係」講演会については、県・国の支援事業がある。その事業を活用し、予算負担の軽減を図る。 ②各中学校と連携を密にし、スムーズな開催ができるようにする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	年間計画に基づき事業運営を進めていく。
	第2四半期		
総括（第4四半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	年間計画に基づき事業運営を進めていく。
	第4四半期		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	全国学力テスト全国順位（中学3年時）	本年度目標値	5位以内	現状値	5位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	26.0%	現状値	26.4%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月			①育脳プログラムの配布の準備、係内での勉強会	
	5月	①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいく。 乳幼児健診や講座、講演会の実施 係内での研修会		①育脳プログラムの配布、係内での研修会 町内保育園・認定こども園・小学校3年生の園児・児童の保護者に配布	
	6月			①育脳インストラクターによる講座、講演会、研修会の実施 6月13日、研修会・講演会の実施 6月14日、おやこふれあい遊び講座・研修会の実施	
	7月			①育脳プログラム係内での勉強会 育脳実践、ましこココハウスでのワークショップ開催「親子でふれあう」	
	8月	①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいく。 乳幼児健診や講座、講演会の実施 子ども子育て支援拠点施設「ましこココハウス」での実施		①育脳プログラム係内での勉強会 ましこココハウスで育脳紹介、実践	
	9月			①育脳プログラム係内での勉強会 ましこココハウスで育脳紹介、実践	
	10月			①育脳インストラクターによる講座、講演会、研修会の実施 10月12日、子育て講座・研修会・講演会の実施 10月13日、子育て講座・研修会の実施	
	11月	①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいく。 乳幼児健診や講座、講演会の実施 子ども子育て支援拠点施設「ましこココハウス」での実施		①育脳プログラム係内での勉強会 ましこココハウスで育脳紹介、実践	
	12月			①柳澤運動プログラム運動保育士による育脳運動遊び研修会の実施 12月18日、研修会実施	
	1月			①ましこココハウスで親子のふれあい遊びをとおして育脳紹介、実践	
	2月	①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいく。 乳幼児健診や講座、講演会の実施 子ども子育て支援拠点施設「ましこココハウス」での実施		①ましこココハウスで親子のふれあい遊びをとおして育脳紹介、実践	
	3月			①ましこココハウスで親子のふれあい遊びをとおして育脳紹介、実践	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいくにあたり、指導者研修会を開催し、実践に向けてプログラムについて理解を深める。また、乳幼児健診や講座、講演会をとおり、普及啓発していく。育脳インストラクターによる指導者向け研修会の開催、保護者向け講座、町民向け講演会を実施していく。保護者向け講座、町民向け講演会は、リピータが多く、参加者からは次回開催の要望がある。</p>	<p>①育脳インストラクターからの助言を受け、啓発普及に努めていく。また、関係各課・機関とも連携を図り、啓発普及に取り組む。7月オープン予定の子ども子育て支援拠点施設「ましこココハウス」でのプログラムの実践に向けて、計画を立案していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいくにあたり、勉強会を開催し、実践に向けてプログラムについて理解を深める。また、乳幼児健診や講座、講演会をとおり、普及啓発していく。ましこココハウスにおいても啓発普及をする。育脳インストラクターによる指導者向け研修会の開催、保護者向け講座、町民向け講演会を実施していく。保護者向け講座、町民向け講演会は、リピータが多く、参加者からは次回開催の要望があるため、10月に講座、講演会を企画する。</p>	<p>①育脳インストラクターからの助言を受け、啓発普及に努めていく。また、関係各課・機関とも連携を図り、啓発普及に取り組む。保健センター及びましこココハウスでのプログラムの実践をしていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①10月に育脳インストラクターによる講演会・子育て講座、12月に運動保育士による育脳運動遊びの研修会を実施した。参加者からは、参加してよかった、次回開催希望の声が聞かれた。育脳の効果的な実践に向けて勉強会を継続していく。</p>	<p>①育脳インストラクターによる講座・研修会・講演会の次年度開催を検討する。また、育脳普及啓発のための勉強会を継続し、講座用の媒体作成に努める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①ましこココハウスで親子のふれあい遊びをとおり、育脳についてふれることで徐々に普及していくと考えられる。育脳を推進するため、講座用の教材（媒体）を作成中であり、今後の教材の活用が課題である。</p>	<p>①育脳インストラクターによる講座・研修会・講演会の次年度開催を検討する。また、育脳普及啓発のための勉強会を継続し、講座用の教材（媒体）の活用を努める。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間事業運営に沿った事業計画を実施していく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間事業運営に沿った事業計画を実施していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	90%		
KPI	全国学力テスト全国順位(中学3年時)	本年度目標値	5位以内	現状値	5位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	26.0%	現状値	26.4%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	③マイチャレンジ推進事業補助金の内示(20,000円×6学級分) ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金事業計画書の提出 ③各中学校へマイチャレンジ推進事業補助金の交付決定、概算払い ③マイチャレンジ推進事業実施予定(七井中・6/13~6/15) ②英検検定料補助金運用について、HPや紙文書で各中学校へ周知する。	③マイチャレンジ推進事業補助金内示 4/5 ②英検検定料補助金について、全中学校の保護者へ周知 4/11 ③マイチャレンジ推進事業補助金事業計画書提出、交付決定 4/19 ・益子町学力学習状況調査(小3、中1)、とちぎっ子学習状況調査(小4、小5、中2)、全国学力学習状況調査(小6、中3)を実施 4/17 ・学力向上推進リーダー授業参観 4/18(七井小) ②ALTミーティング実施 4/25		
	5月	②ALTを小学校3名、中学校2名を配置する。外国語小中連携授業参観を行う。小学校外国語活動推進委員会を実施し、今年度の活動の計画を立てる。 ②中学生海外派遣団員選考試験、選考会の実施。 ・小学校3年生及び中学校1年生を対象に、町独自の学力調査及び生活・意識調査を実施し、結果の分析をする。 ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業に同行し、小学校4、5年生及び中学校2年生を対象に学力調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上推進リーダーに同行し、授業者の指導力向上の支援をする。	③マイチャレンジ推進事業補助金の概算払い ②小学校外国語活動授業参観 5/1(田野中)5/14(七井中)5/30(益子中) ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業5/29(七井小) ②中学生海外派遣選考試験 5/26 ②ALTミーティング実施 5/30		
	6月		・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業 6/6(益子小) ・学力向上推進リーダー授業参観 6/19(益子小) ②中学生海外派遣団員選考会 6/11 ②第1回益子町小学校外国語活動推進委員会の実施 6/28 ②ALTミーティング実施 6/27		
	7月		・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業 7/4(田野小)・26(田野小) ②ALTを講師に外国語活動スキルアップ講座を実施 7/26 ②ALTミーティング実施 7/18 ②第1回英検検定料補助金支払 8/8 ・町指導助手研修会 7/30		
	8月	②英検検定料補助金支払 ②中学生海外派遣団員結団式、事前研修会 ②各小中学校に電子黒板を追加配備(各校1台ずつ)	②益子町小学校外国語活動研修会の実施 第2回益子町小学校外国語活動推進委員会の実施 8/7 ・益子町小・中学校学力調査結果報告会及び第1回学力向上検討委員会の実施 8/9 ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業実施 8/27(七井小) ②ALTを講師に外国語活動スキルアップ講座を実施 8/10 ②中学生海外派遣団員結団式 8/8 ・第1回プログラミング教育推進委員会 8/6		
	9月		・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業 9/26(七井小) ②9/1~各小中学校に電子黒板を追加配備(各校1台ずつ) ②9/26 ALTミーティング実施		
	10月		・合同訪問 10/1(益子西小) 10/10(七井中) ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業 10/10(田野小) 10/25(益子小) ・プログラミング教育研修会 10/29(益子小) ②中学生海外派遣団員壮行会及び事前研修会 10/15		
	11月	②英検検定料補助金支払 ③マイチャレンジ推進事業実施予定(田野中・11/14~11/16) ③マイチャレンジ推進事業実施予定(益子中・11/13~11/15)	・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業 11/14(七井小) 11/20(田野小) ②中学生海外派遣団派遣 11/2~11/10 ②第2回英検検定料補助金支払 11/19		
	12月		・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業 12/4(益子小) ・第2回町独自の学力調査実施 12/13・14 小学校対象 ③益子中よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書提出(12/12) ③七井中よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書提出(12/21) ③広報ましこ12月号にマイチャレンジの様子を掲載(3中学校)		
	1月		・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業実施 1/24(七井小) 1/28(益子小) ②中学生海外派遣団報告会 1/7		
	2月	③広報ましこにマイチャレンジの様子を掲載(3中学校)	・プログラミング教育研究授業・授業研究会 2/1(益子小) ・とちぎっ子学力向上応援団派遣事業実施 2/4(田野小) ②第3回益子町小学校外国語活動推進委員会実施 2/5 ②第2回学力向上検討委員会 第2回実施 2/14 ②外国語活動出前事業 2/15(益子西小)2/19(田野小)		
	3月		・第2回プログラミング教育推進委員会		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②中学校3年生について、昨年度までの英検3級取得者数は19人。第1回の補助金申請者数は23人(準2級での申請者6人は含まない)で、前年度の第1回の申請者数を上回った。第1回の合格者数については結果が第2四半期となるため未記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とちぎっ子学習状況調査(小4、小5、中2)を実施した結果、小4は国語総合、国語基礎、算数総合、算数基礎、算数活用、理科総合、理科基礎、理科活用は県平均を上回り良好である。小5は国語、算数、理科の全てにおいて、県平均を上回り良好である。中2は国語、社会、数学、理科は県平均を上回り良好であるが、英語総合、英語活用が県平均を下回り、学力向上への対策が必要である。 ・益子町学力学習状況調査(小3、中1)を実施した結果、小3は算数応用は全国平均を上回り良好であるが、国語総合、国語基礎、国語応用、算数総合、算数基礎が全国平均を下回り、学力向上への対策が必要である。中学1年では、全教科(国語、社会、算数、理科、英語)が全国平均を下回り、学力向上への対策が必要である。 	<p>②益子町小学校外国語活動推進委員会で、指導者の英語力スキルアップや指導方法の改善について、協議した。教職員対象のスキルアップ講座や研修会を開催する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上検討委員会を開催し、とちぎっ子学習状況調査や町独自学習状況調査の結果を分析し、各学校ごとの学力向上改善プランを作成できるよう、指導支援をする。また、児童生徒一人一人の学力の補充と授業者の指導力が向上されるよう、県教委や芳四教研協と連携して各学校を支援する。
<p>第2四半期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力テスト全国順位の益子町の順位が5位以内。中学校3年生は、国語A、国語B、数学A、数学B、理科の全教科において、全国平均、県平均を上回り良好である。小学校6年生は、国語A、算数A、理科が全国平均、県平均を上回り良好である。算数Bは県平均を上回ったが、全国平均を下回った。国語Bは全国平均、県平均を下回った。学力向上への対策が必要である。 ②今年度は英語力アップ講座を「Let's try や We canを使った実践練習」「Small talkから活動につなげるための実践練習」の2講座を設定した。今年度は28名の参加。授業者の指導力が向上し、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を養うことにつながった。 ②中学校3年生について、英語検定第1回終了時における3級取得者数は33人で、3級取得率は16.4%である。第2回の英語検定3級受験者は57人で、3級受験率は28.4%である。昨年度同時期より受験率が下回っており、各学校への働きかけが不足していると考えられる。 	<p>②小学校教諭の外国語活動指導のスキルアップができるよう、研究授業及び授業研究会を開催していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とちぎっ子学習状況調査や全国学力・学習状況調査、町独自学習状況調査の結果を効果的に活用し、検証改善サイクルの確実な運用を図り、児童生徒一人一人の学力を向上させるように、県教委や芳四教研協と連携して各学校を支援する。 ②英語検定のましこ未来計画KPIについて、校長会等で各学校へ説明し、理解を得られるよう努めたい。
<p>第3四半期</p>	<p>②外国語活動研究授業及び授業研究会をととして、児童及び指導者についての益子町外国語活動の成果を確認できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー事業で、各学校の学力向上改善プランをもとに、研究授業や授業研究会を実施し、教師の指導力向上の検証・改善を行った。 ②中学校3年生について、英語検定第2回終了時における3級取得者数は42人で、3級取得率は20.9%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4四半期に向けて、引き続き学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー事業、校内研究授業等において、PDCAの検証改善サイクルを確実に運用できるように、指導・支援をしたい。 ②益子町外国語活動推進委員会で、次年度の外国語活動の年間指導計画の作成のための情報収集に努めたい。 ・12月実施の町独自学習状況調査の結果を効果的に活用し、検証改善サイクルの確実な運用を図り、児童一人一人の学力を向上させたい。 ②英語検定のましこ未来計画KPIについて、校長会等で各学校へ説明し、理解を得られるよう努めたい。
<p>第4四半期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回町独自学力調査の分析結果では、低学年は全ての教科で全国平均を上回り良好な結果であった。中高学年は一部の教科で全国平均を下回り、学力向上への対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も継続して、学力向上応援団派遣事業及び学力向上推進リーダー事業を活用し、各学校の学力向上改善プランをもとに、研究授業や授業研究会を実施し、教師の指導力向上の検証・改善を行う。 ②英検補助金を全額補助とすることで、受験生徒数を増やし、英検取得数を増加させたい。また、町ホームページへの情報掲載や、申請用紙等を各学校の全生徒へ配付することにより、保護者や生徒により広く周知する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を確実にを行い、児童生徒一人一人の学力向上を図りたい。 ①英語検定の受験について、継続的に学校から生徒への声かけを行い、受験者の増加を図りたい。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	<p>学力向上に関する各事業を継続し、次年度も授業改善の支援を図りたい。</p> <p>英検の補助額を全額にし、取得の意欲を高めたい。</p>
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 町独自の学力学習状況調査の実施により、着実に学力向上に向けての授業改善が図られていると考える。 学校段階で、学習はもちろんのこと、様々な体験を積み重ねること、将来に向けての自己の可能性をさらに高めようという意欲が持てると考える。試験日等の課題はあるが、英検の補助を確実にし、取得の意欲を高めていただきたい。	

		課局名	生涯学習課			
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成		進捗状況	90%		
KPI	全国学力テスト全国順位（中学3年時）		本年度目標値	5位以内	現状値	5位
KPI	中学校における英検3級取得率		本年度目標値	26.0%	現状値	26.4%
KPI			本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）			②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月		自習室場所の検討（子育て支援拠点施設）			
	5月	④自習室の整備	自習室場所の検討（子育て支援拠点施設）			
	6月		自習室場所の検討（子育て支援拠点施設） 自習場所として改善センターの予備室（36㎡）を確保 中古の机・椅子を探している状況			
	7月		子育て支援センターオープン 17:00～20:00まで自習室として開放			
	8月	④自習室の整備	8/1から改善センターの予備室を「子ども学習室」として開放			
	9月					
	10月		ましコココハウス 17:00～20:00までの自習室運営を改善検討（中央公民館図書室利用者へアンケートを実施）			
	11月	④自習室の整備				
	12月					
	1月					
	2月	④自習室の整備	2月中旬、図書室での学習者が多かったため、公民館の空き部屋を開放し柔軟に対応した。（空き部屋使用者 3日間 5名）			
	3月					

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>子育て支援拠点施設をいかに有効活用するかが課題である。改善センターの予備室(学習室)には机・イス・エアコンがない。それら備品の整備が課題である。</p>	<p>ましっこハウス利用PRに関し健康福課と連携し、効果的に進めて行く。改善センター予備室(学習室)の机・椅子は中古物件で対応を考えている。エアコンの設置も今後検討。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>現在は快適で安全な子育て支援センターで自習できるので、学生向けのPRが必要と考える。</p>	<p>図書室・改善センター・あぐり館で自習している学生にも、子育て支援センターのことをPRする。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>改善センターの「子ども学習室」の利用が少ない。PRの必要あり。</p>	<p>田野中学校へ改善センターの「子ども学習室」のPRを行う。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>公民館の学習スペースの確保</p>	<p>2階ホワイエを開放、既存の机・イスを設置し、飲み物可能な運用を検討する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	改善センター学習室のPRに努める。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を行う。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	たくましく生きる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	65.0%	現状値	60.4%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	13.0%	現状値	11.9%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		⑤体操動作作成業者を選定、検討		
	5月	⑤5月：体操動作とPR用DVD作成の業者を決定 6月：業者との打合せ	⑤作成業者を（一財）日本健康財団に決定。打合せ日程の調整。		
	6月		⑤第1回打合せ。楽曲制作者高島氏、健康財団担当者2名出席。歌詞やメロディーと動作の概要を検討。次回打合せを7月上旬に予定。		
	7月		⑤第2回、3回打合せ。健康財団担当者より動作のラフスケッチの提出を受け、内容を検討。動作(案)の動画を制作することとする。		
	8月	⑤7月：大方の動作の決定と楽曲との調整を実施 8月以降～ 体操動作の講習会の開催 DVD制作の開始	⑤業者より動画の提出を受け、担当間で内容を検討。詳細を確認した。また、作曲家へ動作に合わせた編曲と楽曲録音CDの制作を依頼する。		
	9月		⑤作曲家より楽曲録音CDの提出を受ける。それを基に動作の確認を業者と実施。動作を確定する。 DVD撮影に向け、出演者を町職員より公募することとし、来月の部課長会議で依頼することとする。		
	10月		⑤部課長会議で出演者募集を依頼。出演者を5名決定。		
	11月	⑤DVD制作及び調整	⑤出演者講習会を実施し、野外撮影場所を選定する。 （道の駅、陶芸メッセ、小貝川親水公園） 町民ホールにてDVD室内バージョンの撮影を実施。		
	12月		⑤野外バージョンの撮影を予定するが日程が折り合わず、調整を図る。		
	1月		⑤DVD制作及び調整		
2月	⑤DVD制作及び調整 体操の完成報告	⑤DVD制作及び調整			
3月		⑤DVD制作及び調整 体操の完成報告			

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>⑤前年度作成した楽曲を基に、動作の概要の打合せを業者と実施した。曲の打合せも併せて実施し、次期以降動作と併せてさらに内容を詰めてゆく。</p>	<p>⑤楽曲、動作のすり合わせを実施。内容が固まり次第、撮影のための体操講習会や撮影日時の決定をし、DVD制作へ移行する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>⑤動作の概要の打合せを業者と実施した。それに伴う編曲の打合せも併せて実施し、動作もほぼ決定した。</p>	<p>⑤撮影のため、出演者の決定や体操講習会を実施。撮影場所も選定し、DVDの制作をする。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>⑤出演者の選定、動作の講習会を終了したが、撮影行程は50%止りとなった。</p>	<p>⑤野外での撮影を終了し、内容の調整を図る。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>⑤DVD制作、体操の完成した。今後の普及が課題である。</p>	<p>⑤体操の普及に向けて検討、実戦をする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	

		課局名	農政課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	65.0%	現状値	60.4%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	13.0%	現状値	11.9%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	⑥農村公園の点検の実施。	⑥4/26長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検		
	5月		未実施		
	6月		未実施		
	7月		⑥7/11長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検		
	8月		未実施		
	9月		⑥9/5長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検		
	10月		未実施		
	11月		未実施		
	12月		⑥12/11長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検		
	1月		未実施		
	2月		⑥2/22長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検		
	3月		未実施		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>⑥遊具等の劣化がひどいため、修繕、撤去が必要である。</p>	<p>⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕、撤去を行う。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>⑥遊具等の劣化がひどいため、修繕、撤去が必要である。</p>	<p>⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕、撤去を行う。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>⑥遊具等の劣化がひどいため、修繕、撤去が必要である。</p>	<p>⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕、撤去を行う。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>⑥遊具等の劣化がひどいため、修繕、撤去が必要である。</p>	<p>⑥利用者が安全に利用できるよう点検、修繕、撤去を行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	昭和50年代に造成した農村公園は、遊具等の劣化が進み、点検並びに遊具等の補修を行いながら利用を続ける。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	昭和50年代に造成した農村公園は、遊具等の劣化が進み、点検並びに遊具等の補修を行いながら利用を続ける。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きる人財の育成	進捗状況	90%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	65.0%	現状値	60.4%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	13.0%	現状値	11.9%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知	②各中学校に、外部指導者の推薦を依頼(4/4) ③各小中学校へ栃木県水泳フェデレーション安全講習会開催通知配布(4/13) ④各中学校へ柔道指導者講習会開催通知配布(4/16) ⑤運動用具購入希望計画書の提出依頼(4/17) ⑥各中学校からの外部指導者の申請書受理(4/25) ⑦各小学校へ地域スポーツクラブ指導者派遣事業申込書配布(4/25)		
	5月	②各中学校の運動部に中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施し、外部指導者を派遣。保険加入処理。 ③児童生徒の運動能力向上のため運動用具を整備	③第3回体力向上プログラム活用事業研修会開催通知発送(5/1) ④各小学校へ子どもの体力向上啓発資料送付(5/7) ⑤運動用具購入希望計画書受理・購入(5/8) ⑥外部指導者の決定。各中学校へ派遣(5/17) ⑦運動能力向上運動用具購入(七井小・田野中・七井中)(5/28)		
	6月	③第1回体力向上プログラム活用授業参観・授業研修会開催(益子西小) ③第2回体力向上プログラム活用授業参観・授業研修会開催(田野中)	②外部指導者のスポーツ保険加入処理(6/8) ④各中学校へ全国武道指導者研修会開催要項等配布(6/7) ⑤体力向上プログラム活用授業参観・授業研修会(6/12益子西小5年、6/29田野中2年) ⑥各小中へ「たけなご」の「たけなご」なごなた教室・研修会、とちぎ未来アスリートプロジェクト募集開始通知、配布(随時)		
	7月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②各中学校へ中学校運動部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施。	③益子中生徒の全校大会出場祝懸垂幕作成(7/4) ④「チームとちぎ」選手に益子小から1名認定決定(7/20) ⑤外部指導者派遣事業の(第1期分)実績報告書提出依頼。(7/2) ⑥各小中へ「少林寺拳法・合気道・空手・相撲・登山指導者講習会、ベースボール型授業研究会開催」「リビビック教育に活用できる取組案内」配布(7月中)		
	8月	②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第1期分)実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ②中学校運動部活動外部指導者へのスポーツ指導者育成教室開催案内 ③第3回体力向上プログラム活用授業参観・授業研究会開催(小・中)	③第3回体力向上プログラム活用事業研修会開催(8/3) ④「チームとちぎ」選手(益子小)認定書授与式(8/5) ⑤各中学校へ「柔道指導者研修会開催要項」送付(8/27) ⑥外部指導者派遣事業の(第1期分)実績報告受理・謝金支払(8/28) ⑦各小中学校から要望のあった運動用具類を購入(8月中)		
	9月	③H30年度の新体力テストが実施され、小・中学生のA級以上取得者の割合の現状把握。 ③小中学校の健康・体力づくりの取組について、運動用具の整備・充実を図る。 ③第3回体力向上プログラム活用事業研修会開催	③益子小児童の全校大会出場祝懸垂幕作成(9/7) ④各中へ「栃木県運動部活動の在り方に関する方針の策定及び運動部活動の適切な運営等に係る取組の徹底について」「体育活動・運動部活動中の事故防止について」「中体連大会での安全管理徹底について」「運動部活動指導手引きについて」「運動部活動方針作成について」通知配布(9月中)④各小中学校希望運動用具類購入(9月中)		
	10月		①各小学校へ「幼少期の体力向上サポート研修会開催通知」(10/3)、各中学校へ「弓道指導者研修開催要項」(10/9)送付 ③各小中学校希望運動用具類購入(10月中)		
	11月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第2期分)実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ③小中学校の健康・体力づくりの取組について、運動用具の整備・充実を図る。	②外部指導者派遣事業の(第2期分)実績報告書提出依頼(11/5)		
	12月		①各中学校へ「健康教室(スポーツ心理学講座)開催通知」送付(12/7)「運動部活動指導手引」送付(12/11)「県運動部活動の在り方に関する方針保護啓発」送付(12/12)送付 ②外部指導者派遣事業の(第2期分)実績報告受理・謝金支払(12/12)		
	1月		①各中学校へ「学校相撲実技指導者講習会開催通知」送付(1/7)「運動部に関する調査結果」配布(1/8)「とちぎ未来アスリートプロジェクト」2結果通知」配布(1/18)「東京2020教育プログラム2019前半取組予定」配布(1/25) ②中学校運動部活動外部指導者源泉徴収票作成処理		
	2月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者源泉徴収票作成処理 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第3期分)実績報告書提出依頼・謝金支払処理	②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第3期分)実績報告書提出依頼(2/21) ①各小中学校へ「東京2020に向けた全国ボッチャ普及キャラバン」通知送付(2/15)「平成30年度栃木県オリンピック・パラリンピック教育推進事業」リーフレットを送付(2/28)		
	3月		①各小中学校へ「栃木県児童生徒の体力」送付(3/6)「東京2020みんなのスポーツフェスティバルについて」送付(3/9) ①今年度の「東京2020教育プログラム」リビビック教育実践校の取組状況について」各小中学校へ実績報告依頼(3/14)		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②20運動部中、現在13運動部にて、中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施。 20運動部中、現在7運動部にて、中学校運動部活動外部指導者不在という状況となっている結果である。この数値は昨年度同様である。</p> <p>③体力向上プログラムを活用した研究授業及び授業研究会を開催した。各学校の現状を分析し、課題となる体力要素（筋力、柔軟性、敏しように性、持久力、瞬発力、投力）の向上に繋がる体育の授業であり、個々の体力向上や新体力テストA級以上取得者割合の増加に有効である。</p> <p>③小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合の目標値に対する現状値については、結果が第2四半期となるため未記入。</p>	<p>②中学校運動部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの運動技術向上を支援する上で支障はないのかという課題を解決するため、今後各中学校へ中学校運動部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施予定。 調査結果を踏まえ、外部指導者活用の改善点や問題点を把握する必要がある。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③体力向上プログラムが今年度より本格的に実施されたが、H30年度の新体力テストの小・中学生A級以上取得者割合の現状値は11.87%であった。 (H29 11.39% H28 12.00% H27 12.17% H26 12.45%) 体力向上プログラム導入による割合の増加が期待されたが、結果としては昨年度と同様の結果となってしまった。各学校の現状を分析し、弱い分野の課題となる体力要素（筋力、柔軟性、敏しように性、持久力、瞬発力、投力）の向上に繋がるような取組を支援していきたい。</p>	<p>③次期第3四半期には、第2四半期に発注した【各小中学校から要望のあった運動用具類】が全校において納品となり、活用が開始できる。これらは新体力テストの結果において低い値であった項目に対し、その課題を克服する為に必要な運動用具が対象となっている。新しく整備されたこの運動用具を活用し、運動能力の向上を計りたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③益子小にて第34回全国小学生陸上競技交流大会出場 益子中にて第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場 七井中にて文部科学大臣杯第10回記念全日本少年春季軟式野球大会出場 という結果がでた。</p> <p>また平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、栃木県中2男子ハンドボール投げが9年ぶりに最下位脱出という結果がでた。</p> <p>しかしハンドボール投げだけに限らず、依然として児童生徒の体力は低い傾向にあり、継続した取組が必要である。</p> <p>町内各小中学校においても、要望のあった運動用具類が全校において納品が完了し、今後の活用効果が多いに期待される。</p>	<p>③定期的に未来のトップアスリートの基礎をつくる教室やセミナー、指導者育成教室等の開催・案内通知が教育委員会宛に来るので、引き続き次期4半期も各小中学校や外部指導者へ周知案内をしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①第4四半期にはオリンピック・パラリンピック関連の文書が第3四半期より格段に増えてきた。今年度から各小中学校でも様々な取組が実施されているので、今後もより多くの情報を幅広く周知していく。また、オリパラ以外にも、定期的に未来のトップアスリートの基礎をつくる教室やセミナー、指導者育成教室等の開催・案内通知が教育委員会宛に来るので、引き続き次年度も各小中学校や外部指導者へ周知案内をしていく必要がある。</p>	<p>①次年度も、益子町において【平成31年度児童生徒の体力向上指導者研修会における講師派遣】が決定した。県から派遣された講師による研修会をより多くの先生方へ実施し、子どもの体力向上を更に推進させたい。</p> <p>また次年度新たに【栃木県オリンピック・パラリンピック教育推進事業】について実施希望を申請した。申請が受理された場合、パラリンピック選手による実技や講話等を計画している。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を確実にを行い、新体力テストの測定結果を活用し、たくましく生きる人財の育成に努めたい。
	第2 四半期		
、 総括 （第4 四半期 も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	・次年度も、年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を確実にを行い、子どもの体力向上を更に推進させ、たくましく生きる人財の育成に努めたい。
	第4 四半期		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	65.0%	現状値	60.4%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	13.0%	現状値	11.9%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①一流選手の試合を観戦させるために栃木SC町民デー開催の準備、開催日決定（6/10開催）。栃木SCと地域支援パートナーシップ協定（4/10）。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討（4/10）現在加入者389名。4月上・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。	
	5月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①町体育協会総会にてスポーツ教室等の実績を説明（5/17）。栃木SC町民デー開催準備、及びチケット配付開始（5/10～）。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討（5/8）現在加入者452名。クラブ総会に参加し、事業報告や計画、予算等について説明を受けクラブ運営について再確認した（5/19）。5月上・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。	
	6月			①一流選手の試合を観戦させるために栃木SC町民デー開催（6/10）。①②育成教室の講演会について、講師、日程決定（大久保博元10/21開催）。④クラブ運営委員会にて運営の検討（6/12）現在加入者490名。6月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び体操教室のPRについて掲載した。⑤マシコット体操について曲が完成したので、体操について打合せ（6/7）。	
	7月			①②少年スポーツ教室の講師及び開催時期の検討。④クラブ運営委員会にて運営の検討（7/12）現在加入者513名。7月上半期お知らせ版にて、会員募集及び体操教室のPRについて掲載した。⑤マシコット体操について曲が完成したので、体操について打合せ（7/19）。	
	8月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①②少年スポーツ教室の講師及び開催時期の検討。④クラブ運営委員会にて運営の検討（8/7）現在加入者522名。8月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び体操教室のPRについて掲載した。	
	9月			①②育成教室の講演会（大久保博元10/21開催）及び野球教室（11/4）、剣道教室（12/1）について、関係団体へ開催の案内をした④クラブ運営委員会にて運営の検討（9/11）現在加入者527名。9月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。⑤マシコット体操について曲が完成したので、体操について打合せ（9/26）。	
	10月			①②少年スポーツ教室の講師及び開催時期の検討。スポーツ指導者育成教室、大久保博元の講演会（10/21、参加者80名）④クラブ運営委員会にて運営の検討（10/22）現在加入者543名。10月下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。	
	11月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①②少年スポーツ教室（野球）の開催（11/4、参加者118名） ④クラブ運営委員会にて運営の検討（11/13）現在加入者565名。11月上下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。 ⑤マシコット体操について打合せ、体操の練習（11/9）。公民館舞台で体操を撮影（11/22）	
	12月			①②少年スポーツ教室（剣道）の開催（12/1、参加者58名） （サッカー）の開催（12/24、参加者111名） ④クラブ運営委員会にて運営の検討、交流会打合せ（12/11）現在加入者583名。12月上下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。スポーツ交流会開催（12/22）に伴う支援。	
	1月			①②少年スポーツ教室の講師及び開催時期の検討。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討（1/8）現在加入者586名。1月上半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。 ⑤マシコット体操について、屋外で体操を撮影（1/31）。	
	2月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。		①②少年スポーツ教室（柔道）の開催（2/10、参加者31名）。 （卓球）の開催（2/16、17、参加者61名）。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討（2/2）現在加入者587名。2月上下半期お知らせ版にて、新年度会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。 ⑤マシコット体操を役場全体朝礼時に披露（2/5）。	
	3月			①②少年スポーツ教室（ソフトテニス）開催（3/2、参加者83名） （バレーボール）開催（3/9、参加者76名） （バドミントン）開催（3/10、参加者65名） ④クラブ運営委員会にて運営の検討（3/12）現在加入者587名。クラブの今後の方向性、来期行事予定について検討。3月上下半期お知らせ版にて、新年度会員募集について掲載した。	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①少年スポーツ教室は、一流選手のオフシーズンに実施するため、11月頃から開催する予定。どのような選手や指導者に依頼するかを検討し、交渉に入っていく。6/10開催の町民デーについて、5/10から参加者募集を開始し開催したところ、3回目の開催であり、またJ2昇格とのことで、昨年以上の反響があった。</p> <p>①②指導者育成教室については、講師、開催日時（大久保博元10/21開催）が決定したので、多くの方が講習会に参加出来るように周知について検討を進めていく。</p> <p>④今年度も運営委員会等に参加し、事業の検討を行い、運営方法や参加者増に向けた広報活動、プログラムの検討を随時行っている。また、6/12時点で490名の加入であり、前年度の6月（529名）と比べて、ほぼ横ばいの状況である。今後、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動が必要である。</p> <p>⑤については、曲が完成したので、今後は体操（振り付け）について検討を進めていく。</p>	<p>①少年スポーツ教室については、一流のアスリートと呼べるように交渉を行っていく。</p> <p>①②指導者育成教室については、講師及び開催日時（大久保博元10/21開催）が決定したので、多くの方が参加出来るように、早めに広く周知できるよう検討していく。</p> <p>④ましこチャレンジクラブに参加したくなるような、プログラムの内容及び広報内容について検討をして、継続して広報に掲載していく。</p> <p>⑤引き続き、保健センターと情報を共有しながら進める。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①②少年スポーツ教室は、一流選手のシーズンオフに開催するため、11月頃から開始する。剣道と野球については、開催時期と講師について決まりつつあるが、他種目について、メダリスト等の一流選手の指導が受けられるように交渉していく。今後、引き続き、講師の選定と開催時期の検討を進める。</p> <p>④ましこチャレンジクラブの加入者は、9月で527名であり、昨年同期558名と比較して、ほぼ横ばいの状況であるため、広報お知らせ版を利用しながら継続してPRを続ける。</p> <p>⑤楽曲や体操（振り付）が出来上がったため、今後、体操説明映像作成をして、どのようにPRをしていくのか検討する必要がある。</p>	<p>①②少年スポーツ教室については、一流のアスリートと呼べるように交渉を行っていく。指導者育成教室については、研修内容を検討しながら、講師の選定と交渉を進めていく必要がある。</p> <p>④ましこチャレンジクラブに参加したくなるような、プログラムの内容及び広報内容について検討をして、継続して広報に掲載していく。</p> <p>⑤引き続き、保健センターと情報を共有しながら進める。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①②少年スポーツ教室では、3種目（野球・剣道・サッカー）を開催し、子供たちや指導者にとって有意義な教室になった。その他の種目については、引き続きトップアスリートからの指導が受けられるように進めていく。</p> <p>大久保博元氏による講演会では、スポーツ少年団も含め、広く多数の参加者が集まるよう周知をしたが、80名程度の参加であり、子供たちの参加は数名であった。講演会開催の必要性を含めて、開催方法などについて検討する。</p> <p>④ましこチャレンジクラブの加入者は、12月で583名であり、毎月、徐々に加入者が増え続けている。引き続き、広報お知らせ版を利用しながら、継続してPRをしていく。</p> <p>⑤体操は、楽曲および振り付けが出来上がり、周知用デモ映像の撮影が行われ順調に進捗している。</p>	<p>①②少年スポーツ教室では、予定の残り5種目について、講師と参加者との調整を行い、より中身が濃い充実した教室となるよう進めて行く。</p> <p>④チャレンジクラブについては、年度の後半以降になるので新規加入者を増やすのは難しいが、引き続き広報活動を行い、今後も今の加入者人数を確保できるよう努めたい。</p> <p>⑤体操の周知用デモ映像を完成させたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②少年スポーツ教室では、5種目（柔道・卓球・ソフトテニス・バレーボール・バドミントン）を開催し、子供たちや指導者にとって有意義な教室になった。</p> <p>バレーボール教室では、初めての試みとして、小中学生を午前午後の部で分けて実施した。レベルに応じた教室が開催できた。</p> <p>④チャレンジクラブ加入者を増やすために、町広報誌へ会員募集について掲載した。一人でも多く、クラブについて周知できるよう、内容の検討を踏まえて、次期会員募集に繋がるようPRしていく。</p> <p>⑤体操は、楽曲および振り付けが出来上がり、周知用デモ映像の撮影が屋外で行われ順調に進捗している。</p>	<p>①②少年スポーツ教室では、今年度同様に、より効果が上がる講師の選定、そして、メダリスト等のトップアスリートを招くことができるよう調整する。また、開催時期について、小学6年生、中学3年生が引退する前に実施できるか検討する。このスポーツ教室で、指導者の育成も図れるように講師に依頼する。</p> <p>④3年後の2022年には、toto助成金が打切りになるため、自立して運営を進める方策、町としての支援方法を検討していく必要がある。引き続き、町広報誌を利用して、会員募集について周知していきたい。</p> <p>⑤ましこ体操を広げるための方策について検討を進める。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	引き続き年間計画に基づき、事業を進めていく。 マスコット体操について、周知方法や活動手段について検討を進めたい。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	引き続き年間計画に基づき、事業を進めていく。 スポーツ教室では、小中学生が興味を持てるような講師の選定に努めていく。 また、マスコット体操については、具体的な周知方法や体操をする機会について検討を進めたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 東京オリンピックや栃木国体の開催等、興味関心の高まるスポーツイベントが間近にあるので、スポーツ教室やマスコット体操など、小さいうちからスポーツに親しむ意識を高めるための方策を継続していただきたい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人材の育成	
施策	人財が育つ環境づくり		進捗状況	100%	
KPI	町民学士認定者数	本年度目標値	198人	現状値	177人
KPI	ましこ検定の合格者数	本年度目標値	50人	現状値	48人
KPI	遊びの達人の登録者数	本年度目標値	10人	現状値	18人
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	②第1回実行委員会の開催		②第1回ましこ検定・世間遺産実行委員会へ出席。4/19。（29年度実績、30年度計画について）	
	5月				
	6月				
	7月	②第2回実行委員会の開催（実施に向けての検討）		②第2回ましこ検定・世間遺産実行委員会へ出席。7/18。（世間遺産審査、ましこ検定日程ほか）	
	8月				
	9月				
	10月	②第3回実行委員会の開催について（実施に向けての検討）		②ましこ検定・世間遺産実行委員会の実施。10/26。（世間遺産審査会にのみ、観光商工課出席）	
	11月				
	12月				
	1月	②第4回実行委員会の開始。ましこ検定の実施。			
	2月			②ましこ検定・世間遺産実行委員会の実施。2/6。（世間遺産の審査・ましこ検定の出題問題検証）	
	3月				

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②受験者が伸びていないので、ましこ検定について内容検討が必要。</p>	<p>②中級・上級受験を新たに設定するかを検討。中学生の受験について進める方向で調整。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②ましこ検定受験を中学生に受験してもらい、益子町への興味、愛着をもってもらう取組みに繋げたい。 ②世間遺産の下期募集を行うか検討。</p>	<p>②ましこ検定の中学生受験について、学校・教育委員会と調整し、中学生が受験しやすい体制を整理していく必要がある。 ②世間遺産登録について、認定数が目標値に達成していないため、各委員から地元への働きかけを依頼し、新たな登録を目指す。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②観光資源に繋がり得る世間遺産の発掘を推進していきたい。</p>	<p>②担当課と協力して、世間遺産を生かした周遊ルートづくりを検討する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②観光資源に繋がり得る世間遺産の発掘を推進していきたい。</p>	<p>②担当課と協力して、世間遺産を生かした周遊ルートづくりを検討する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	人材が育つ環境づくり	進捗状況	100%		
KPI	町民学士認定者数	本年度目標値	198人	現状値	177人
KPI	ましこ検定の合格者数	本年度目標値	50人	現状値	48人
KPI	遊びの達人の登録者数	本年度目標値	5人	現状値	18%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月		①町民大学総合講師廣瀬隆人先生依頼、方向性、カリキュラム打ち合わせ(4/21) 商工会青年部へ町民大学PR(4/25) ②第1回実行委員会の開催(4/19、9名参加 第2回ましこ検定結果報告・収支決算報告・H30年度スケジュールについて)		
	5月	①ましこ町民大学 カリキュラム策定、募集開始 ②第1回ましこ検定実行委員会の開催(昨年度実施した、ましこ検定の結果報告) ③遊びの達人講座計画策定(5月) 第1回遊びの達人講座の開催(6/23)	①町民大学募集要項策定。パンフレット設置(役場、中央公民館、あぐり館、改善センター、道の駅ましこ)(5/11) ③遊びの達人登録3名 5/18(釣り)		
	6月		①町民大学募集開始(6/1~7/31) 広報ましこ6月号、広報ましこお知らせ版6月下旬掲載 生涯学習推進員研修においてパンフレット配布PR(6/1) 生涯学習推進協議会においてパンフレット配布PR(6/21) シルバー人材センターへパンフレット設置依頼(6/26) 6/30現在 応募者5名。 ③第1回遊びの達人講座の開催(6/23)マス釣り子供28名達人6名 6/14、15遊びの達人2名登録(登山・水生生物) 合計15名		
	7月		①職員講師・講義内容の報告を依頼した。 ②第2回ましこ検定実行委員会の開催(7/18、10名参加 第2回ましこ検定日程・中学生の受検・難易度・チラシ・合格証、特典について) ③第2回遊びの達人講座の開催(7/28)虫取り子供21名 達人1名		
	8月	①ましこ町民大学 2班集体で入学生の勧誘を実施(7/10~7/31) ②第2回ましこ検定実行委員会の開催(募集チラシの検討) ③第2回遊びの達人講座の開催(7/28)	①町民大学募集を延長した。(8/17まで) 外部講師を依頼した。(廣瀬隆人先生・悠楽塾・高橋正則先生・法師人尚史先生・町民大学第5期生)		
	9月		①入学式(9/1 24名入学) 第1~6回講座修了		
	10月		①第7~11回講座修了 ②第3回ましこ検定実行委員会の開催(10/26、8名参加 第3回ましこ検定難易度・検定料・中学生の受検・特典・合格証等について)		
	11月	①ましこ町民大学の運営 ②第3回ましこ検定実行委員会の開催(出題問題の検討) ③第3回遊びの達人講座の開催(11/24)	①第12~16回講座修了 ②各中学校との日程調整 ③第3回遊びの達人講座の開催(11/24) 雨巻山登山 子供18名 達人2名		
	12月		①第17~19回講座修了。12/15オープンキャンパス(広報活動)真岡新聞・下野新聞掲載。アクションプランづくり各課協力要請(課長会議) ②各中学校との日程調整 ましこ検定チラシ作成(写真は世間遺産に認定されているものを使用)		
	1月		①第20~21回講座修了、各班アクションプラン作成会議 ②ましこ検定問題作成(中学生用、一般用(初級・中級))		
	2月	①ましこ町民大学の運営 ②第4回ましこ検定実行委員会の開催(最終調整)、ましこ検定の実施 ③第4回遊びの達人講座(3/16)	①卒業式、アクションプラン発表会、4つのアクションプランが完成、ニュースレター⑤発行 次年度総合講師を廣瀬先生に依頼 第5期生主催懇親会(2/26@アプローズ益子46名参加) ②第4回ましこ検定実行委員会の開催(2/6、10名参加 第3回ましこ検定申込状況・中学生受検日程・問題の最終確認について) ②七井中検定実施(2/21、57名受検)、一般の部検定実施(2/23、初級7名・中級12名、計19名受検)、田野中検定実施(2/27、37名受検) ③遊びの達人登録 2/20 3名(植物・わら細工・昔カード)		
	3月		①アンケートまとめ 第5期生まちづくり活動費補助金4件実績報告→精算 第6期生次年度まちづくり活動費補助金相談2件 ②益子中検定実施(3/1、84名受検) ③遊びの達人 3/16「日本文化にふれる」 3/16 登録者3名(かるた)		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①応募者が少ないので、いかに増やすかが課題。 ②予想以上にましこ検定受検者が少なかったため、広報活動に工夫が必要。ふるさと教育にもつながるため、希望する中学生に対して気軽に受検していただけるように中学校での開催も視野に入れる。また、中級編や上級編の問題作成を検討していく。</p>	<p>①いろいろな団体や機関に募集案内や推薦依頼をしていく。 ②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討を行う。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①講座時間が延びてしまったことクレームがでた。 ②ましこ検定実施に向けて、難易度の件や合格証、特典についてなど未決定の部分があり、次回までの検討課題となった。</p>	<p>①講座の時間を厳守するため流れをよく打ち合わせする。学生のモチベーション維持のために講座の充実を図る。 ②今回のましこ検定実行委員会を実施した結果、次回まで結論を先延ばしにした難易度の件や合格証など未決定事項を協議し、決定させる。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①第5期生の講座をもっと早くやって欲しかったとのアンケート回答があり、次期のカリキュラム作成の参考にしたい。アクションプランづくりに向けてグループが動き出している。各課へ協力依頼を課長会議で話していただいたことでスムーズな取組ができていく。初めてのオープンキャンパスを行い、次期募集の広報を試みた。 ②今年度から初級試験に加え、中級試験を実施する。中級試験の合格者には初級試験のときにはなかった特典を追加することなどのチラシを作成し、自治会回覧や各小中学校・高校へ配布するなど周知徹底する。</p>	<p>①比較的時間のある学生へターゲットを絞り広報活動をしていきたい。 ②HP、FB等受検者増に向けた広報に努める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①アンケートから概ね満足という結果が出た。始める前はイヤだったが初めて見ると楽しかったという声があったので、うまくPRして受講者を増やしていきたい。アクションプランの実行のサポートが継続的に必要。 ②ましこ検定(一般の部) 初級：申込者8名、受検者7名、欠席者1名 合格者6名、不合格者1名 中級：申込者12名、受検者12名 合格者12名 ましこ検定(中学生の部) 初級のみ：受検者178名、合格者30名 合計：受検者197名、合格者48名 ましこ検定を各中学校で実施したため、受検者数は大幅に増加したが、中学生の合格者は30名と約17%にとどまった。社会科副読本から9割程度出題したが、初めての検定ということもあり、傾向がわからなかったことや文化財関係の問題の正答率が低かったことが主な要因である。</p>	<p>①受講者の感想をPRに入れて広報活動していく。 ②中学生の合格率を上げる対策を検討していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に基づき事業運営を進めていく。
	第2 四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされた い。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	次年度も、ましこ検定を中学1年生にも受検していただくことで「ましこ学」に触れてもらい、総合的な学習の時間・ふるさと教育の一環として取り組んでいきたい。 ましこ町民大学について、自分たちの「できることを、できる範囲で、できる時に」やってみようとする機会を引き続き提供する。
	総括 （第4 四半期も含む）	②意見・提言 中学生からましこ検定で「ましこ学」に触れることは、学校で取り組む総合的な学習の時間や地域探検に直接つながるもので、中学1年生の検定合格に向けての意欲も高まるのではないかと考える。第一は、子どものうちから、「ふるさと益子」のことを考えるチャンスが少しでも増えればよいと思う。 ましこ町民大学について、自分たちの「できることを、できる範囲で、できる時に」やってみようとする機会として意義があると考える。	